

協会 社保研究会のご案内

～第145回 内科臨床研究会～

2023年9月の研究会は、下記の2つのテーマを取り上げて開催いたします。ご参加にあたり、事前に必ずお申し込みください。

記

■テーマ・講師:(講演要旨は裏面参照)

①「蛋白尿の意義

～生物の進化に対応してきた

腎臓の役割を踏まえて～」

春日井市民病院 統括顧問、腎臓内科

渡邊 有三 氏

②「子どもの食物アレルギー

～予防から治療までの最新情報～」

あいち小児保健医療総合センター センター長

伊藤 浩明 氏

■とき:9月2日(土) 午後2時30分～5時

(①午後2時30分から、②午後3時45分から)

■ところ:協会伏見会議室(※裏面地図参照)

名古屋市中区錦 1-13-26 名古屋伏見スクエアビル 9F

電話 052-223-0415

※事前申込制とし、オンライン併用で開催いたします。

※ご参加は会員の医師・歯科医師に限らせていただきます。

※ご参加にあたり、マスクの着用のご協力をお願いいたします。

※本研究会は日医生涯教育制度の認定予定講座です。オンライン参加の方の申請方法は裏面をご参照ください(予定:2.0単位、カリキュラムコード:73(慢性疾患・複合疾患の管理)、15(ショック))。

●申込み:現地参加の場合は、下欄にご記入いただき FAX でご返送ください。オンライン参加の場合は下記コードからお申し込みください。

<https://aichi-hkn.jp/event/14707>

市区町村	
会員名	
医療機関名	



主催:愛知県保険医協会

Tel:052-832-1347/Fax:052-834-3584【大島まで】

[講演要旨]

① 「蛋白尿の意義

～生物の進化に対応してきた

腎臓の役割を踏まえて～

[要旨] 蛋白尿はCKD 進行への危険因子である。ならば蛋白尿の成因は何だろうか。生物が進化すると共に腎臓に与えられた使命を考えながら、蛋白尿への対処を考えたい。又近年では蛋白尿を示さずに腎不全へと進行する病態が注目されている。新しく市場に登場した降圧薬も含め、その対策について考えたい。

② 「子どもの食物アレルギー

～予防から治療までの最新情報～

[要旨] 子どもの食物アレルギーの診療は、食物経口負荷試験による正しい診断と、「食べられる範囲を食べる」食事指導、さらに経口免疫療法に発展してきました。その発症を予防する早期摂取も含めてお話しします。

オンライン参加者の日医師涯教育制度の単位申請について

- ・講演中に、チャットで「申請用コード」（キーワード）をお送りします。
- ・研究会の終了時又は退出時に「申請用コード」入力用のフォームが表示されますので、「申請用コード」をご入力頂きご返信ください。
- ・「申請用コード」が合致した方のみ単位の申請をさせていただきます。

<愛知県保険医協会伏見会議室>

※ 会場ビルに駐車場はありません。周辺コインパーキングをご利用下さい。

